

2016年度日本建築学会大会(九州)学術講演会  
環境工学委員会 若手優秀発表賞 実施概要

| 講演番号 | 運営委員会     | 審査基準  | 審査方法  | 備考   |
|------|-----------|---|---|--|
|      | 環境心理生理    | ①研究内容<br>②プレゼンテーション<br>③質疑等の受け答え  | ・採点方法は下記の4段階による。<br>◎:10件に1件程度に相当する<br>○:5件に1件程度に相当する<br>△:平均以上であるが、10件に2件程度にはやや届かない<br>レ:平均を下回る<br>・審査委員による採点結果をもとに、運営委員会にて受賞候補者を選考する。   | ・有資格者は、「29歳以下、または、大学院在籍中および修了後2年以内の学生、社会人」とする。<br>・表彰の候補者となることの諾否について、予め連絡し確認を要する。 |
|      | 音環境       | ①プレゼンテーション(資料・発表・質疑応答など)<br>②研究内容(独創性・信頼性・将来性など)<br>※プレゼンテーションに重点を置く。                       | ・採点方法は下記の3段階による。<br>◎:10編中1編程度の水準に達する<br>○:優れているが10編中1編程度の水準には達しない<br>△:上記いずれの水準にも達しない<br>・審査員による採点結果をもとに、運営委員会にて受賞候補者を選考する。  |  |
|      | 環境振動      | ①ビジュアライゼーション<br>②発表態度<br>③発表内容<br>④討論<br>⑤発表時間  | ・審査基準それぞれについて5点満点で評価する。<br>・審査委員による採点結果をもとに、運営委員会にて受賞候補者を選考する。  |  |
|      | 光環境       | ①研究内容(梗概および発表に基づく、研究内容、論文構成、図表のわかり易さなど)<br>②発表(プレゼンテーションの良さ、質疑に対する受け答えの良さなど)                | ・採点方法は下記の3段階による。<br>◎印:「対象者の論文の10編中1編程度の優秀な論文」<br>○印:「10編中1編程度には届かないが、優れた論文」<br>レ印:「普通もしくは普通以下(漏れがないように確認のため)」<br>・審査委員による推薦書をもとに、運営委員会にて受賞候補者を選考する。  |  |
|      | 電磁環境      | ①研究自体の新規性、独創性<br>②梗概のわかりやすさ<br>③発表のわかりやすさと適切性<br>④質疑応答のわかりやすさと的確性                           | ①審査委員毎に受賞候補者を選定<br>②「①」を基準とした審査委員全員の討議による受賞候補者の決定<br>※「該当者なし」の場合もあり得ることとする。   | ・例外的に35歳以下まで可能とする。   |
|      | 水環境       | ①研究テーマの独創性や学術的・工学的意義など<br>②研究方法の独創性、新規性など<br>③研究成果の信頼性、妥当性、新規性など<br>④プレゼンテーションの明快さと質疑回答の的確性 | ・採点方法は下記の5段階による。<br>5:非常に優れている<br>4:優れている<br>3:良好である<br>2:普通である<br>1:不備・不足が多い<br>・審査委員(2名)による推薦書をもとに、運営委員会にて受賞候補者を選考する。   |  |
|      | 都市環境・都市設備 | ①研究自体のの新規性、独創性<br>②梗概のわかりやすさ<br>③発表のわかりやすさと適切性<br>④質疑応答のわかりやすさと的確性                          | ①司会者による審査<br>・審査基準それぞれについて5段階評価する。<br>A:極めて優れている<br>B:優れている<br>C:優れている点がある<br>D:普通である<br>E:やや劣っている点がある<br>②運営委員会での審議<br>・審査委員による推薦書をもとに、運営委員会にて受賞候補者を選考する。  |  |
|      | 環境設計      | ①研究内容(独創性・レベル、など)<br>②プレゼン内容(分かりやすさ・時間配分、など)<br>③質疑応答(的確さ・自身が応答、など)<br>④総合評価                | ・審査基準それぞれについて5段階評価し、合計20点満点とする。<br>・主査、幹事がとりまとめる。   |  |
|      | 熱環境       | ①研究(論文の研究内容、論文構成、図表などを含めた分かり易さ)<br>②発表(プレゼンテーションの良さ、質疑応答時の対応)                               | ①司会者による審査<br>・審査基準それぞれについて5段階評価する。<br>5:強く推薦する[推薦理由を備考欄に書く]<br>4:非常に優れている(全対象者の10%程度)<br>3:優れている(全対象者の10%程度)<br>2:やや優れている(全対象者の20%程度)<br>1:普通・普通以下(全対象者の60%程度)<br>②小委員会での集計と審議<br>・「研究」:「発表」=1:1の割合で集計する。<br>・司会者1と司会者2のウエイトは同じとして平均する。<br>・最大10点、最小2点となる。<br>③運営委員会での審議<br>・各小委員会からの推薦を受け、審議により確定する。 |  |
|      | 空気環境      | ①研究(論文の研究内容、論文構成、図表などを含めた分かり易さ)<br>②発表(プレゼンテーションの良さ、質疑応答時の対応)                               | ①審査委員と司会者1による審査<br>・採点方法は下記の4段階による。<br>☆印:「特に傑出している」(滅多に付かない)<br>◎印:「対象者の論文10編に1編程度の優秀なもの」<br>○印:「10編に1編には届かないが、優れている」<br>レ印:普通もしくは普通以下<br>②運営委員会での集計と審議<br>・☆(5点)、◎(3点)、○(1点)とする。<br>・「研究」:「発表」=1:1の割合で集計する。<br>・審査委員と司会者1のウエイトは同じとして平均する。<br>・最大10点、最小0点となる。<br>・審議により確定する。                         |  |
|      | 建築設備      | ①研究内容(研究の独自性・完成度)<br>②プレゼンテーション(発表の明瞭性と質疑応答の的確さ)  | ①司会者による審査<br>・審査基準それぞれについて5段階評価する。<br>A:極めて優れている<br>B:優れている<br>C:優れている点がある<br>D:普通である<br>E:やや劣っている点がある<br>②運営委員会での審議<br>・審査委員による推薦書をもとに、運営委員会にて受賞候補者を選考する。  |  |